

(様式第1号)

平成30年10月30日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 大島 伸一 様

領域名：生活支援・介護過程に関する領域
科目名：自職場事例を用いた演習
単位数：1単位
認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人静岡県介護福祉士会
団体事務所の所在地：〒420-0856
静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階
電話：054-253-0818
FAX：054-253-0829
E-mail：shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：一般社団法人静岡県介護福祉士会
申請責任者：会長 及川 ゆりこ



記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年 10月 30日
申請団体名	一般社団法人 静岡県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 及川 ゆりこ
申請責任者職名 申請責任者氏名	認定介護福祉士養成研修担当 理事 水野 公智
団体住所 同 Tel・Fax メールアドレス	〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階 Tel : (054)-(253)-(0818) Fax : (054)-(253)-(0829) E-mail: shizukai@cy.tnc.ne.jp
申請対象の領域	領域名 : 生活支援・介護過程に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 自職場事例を用いた演習 (1単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	生活支援・介護過程に関する領域	
科目名	自職場事例を用いた演習	
(1)提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・事例から個別支援計画を作成し、実施方法をチームにおいて検討することができるようにする ・計画を実施し、チームにおいて適切な記録から計画を評価し、課題を抽出し、計画を修正することができるようにする 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事例について、各種の知識を活用し、利用者の全人的理解や他専門職からの情報等を統合し、適切なアセスメントにより、個別支援計画を作成することができる ・計画の実施方法を検討し、適切にチームにおいて実施することができる ・実施状況を記録し、実施内容を評価・指導することができる ・実施内容の評価から、チームにおいて計画を修正することができる ・介護福祉士としての介護観・支援の考え方・倫理観を確立し、他職種と連携することができる ・個別支援計画と実施内容の妥当性について評価し、指導することができる 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだ知識・技術を統合し、利用者の全人的理解、他の専門職の情報（治療状況、看護の経過、リハビリの経過）、家族状況などを踏まえた、個別支援計画の作成（医療・看護・リハビリ等の知識の確認を含む）、 ○自職場で個別支援計画をプレゼンテーションし、介護職員の共通理解を図る ○自職場で個別支援計画を実施し、実施経過を記録する ○実施経過から事例検討のための資料を作成し、事例検討会を開催する <p>全人的理解、個別支援計画の作成と展開、評価、介護職への指導、プレゼンテーション、事例検討用の資料の作成、事例検討会の開催</p>	<p>第1回 本研修内容の説明</p> <p>第2回 事例の選択と個別支援計画の作成</p> <p>第3回 プレゼンテーション模擬演習 様々なプレゼンテーション技法の紹介</p> <p>① ワールドカフェ</p> <p>② 学び合い</p> <p>③ 【えんた】 等</p> <p>第4回 自職場課題の発表と検討1 グループ演習としてグループごとに選択設定。</p> <p>【事後課題】 自職場で個別支援計画をプレゼンテーションし、介護職員のチームを作成し、個別支援計画の実施、評価を通して事例検討のための資料の作成、事例検討会の実施。事後課題に関しては第4回研修時に配布。第4回を受けて、第5回以降の研修に必要な資料を作成する期間を設定する。</p> <p>第5回 自職場課題の発表 1</p> <p>第6回 自職場課題の発表 2</p> <p>第7回 振り返り・総括</p>
研修方法	<p>■通学課程（集合研修）</p> <p>■課題学習</p> <hr/> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。（10時間） 指定では10時間であるが本研修では14時間設定を行う。 具体的なコマシラバスは別途示す。</p> <p>○課題学習（20時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題（4時間）として「ロールプレイ」「事例検討会をする上での配慮」などに関する書籍の概要を捉え、1200字程度、まとめること。その際、丁寧なレビューや、引用文献、参考文献の提示を行い、私見も述べること。 	

	<p>・事後課題（合計 16 時間）として、自職場で課題を実施。評価は担当講師が行う。詳細内容は以下に提示を行う。</p> <p>①自職場事例のまとめ（4 時間）具体的な事例を通して、どのような関わりをしたのか、また実施のプロセスにおいて事例検討のための根拠資料を作成する（個人名・事業所名を匿名化した上で原本提出）</p> <p>②自職場での事例検討会の実施（4 時間）実施した事例検討会のまとめを行う。実施日時・参加人数・具体的な内容などを 200 字程度まとめる。</p> <p>③自職場での事例検討会に関するリフレクション（4 時間）参加者からの簡単な感想の聞き取りと、受講生自身の感想などを 400 字程度まとめる。</p> <p>④総括レポート（4 時間）①②③を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「研修での学びの活用」 ・「事例検討会に適切に振り返り項目が提示され、参加者の学びに繋がる要素」を 600 字程度にまとめる。 <p>事後課題として①②③④を総括して「事後課題としてのレポートとしての到達度」として評価を行う。</p>
研修時間	30 時間（集合研修 10 時間、課題学習 20 時間）
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については 30 分を上限として認める。（レポート課題あり）</p> <p>○事後課題は A～D の 4 段階評価とし、D 評価の場合は 1 度のみ再提出を認める。なお、事後課題の提出が期限内に行われない場合、修了を認めない。</p> <p>○欠席の場合は修了を認めない。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了している介護福祉士であること ・認定介護福祉士資格取得者 ・補助者（ファシリテーター）についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別支援計画作成と記録の演習」を修了していること。
修了評価	<p>修了評価は以下により行う。（①～④の全てを満たすこと）</p> <p>①出席状況が修了要件を満たしていること。（全課程の出席。ただしやむを得ない事情による 30 分以内の遅刻、早退は認める。詳細は修了要件欄を参照。）</p> <p>②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。（合格、不合格で判定）</p> <p>③事後課題「具体的な事例を通して、どのような関わりをしたのか、また実施のプロセスにおいて事例検討のための根拠資料を作成する。その上で、事例検討会を実施するための配慮点をまとめる。」など自職場においてどのように取り組んだか、1200 字程度でまとめて提出すること。評価は、「研修での学びの活用」「事例検討会に適切に振</p>

	<p>り返り項目が提示され、参加者の学びに繋がる要素」、「事後課題としてのレポートとしての到達度」の3つの視点で評価し、3つとも良であればA、2つでB、1つでC、該当のない場合Dとする。</p> <p>④事後課題の全ての評価がA～Cであること。D評価の場合は1度のみ再提出を認め、C以上の評価を得なければならない。</p> <p>※D評価の場合は未修了となり、本科目の修了を要件とする科目は受講できない。</p> <p>A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 60点未満とする。</p> <p>60点以上で合格、不合格者は合格となるまで追試験としてレポート課題を課す。</p> <p>レポート課題については「介護拒否をされる利用者の「寂しい」「嫌い」と発する言葉に着目した介護過程を展開するための視点を列記する。レポート内では理由に応じた介護計画の提案を求めるものとする。</p>
(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	40名（講師1名） 1～2名のファシリテーター（認定介護福祉士または資格取得後10年以上の介護福祉士を含む）を配置する。
開催場所（都道府県）	静岡県総合社会福祉会館シズウエル（静岡県）

【集合研修】具体的なコマシラバス 本科目に関しては1時間45分換算とする。

1日目

区分	科目名	時間	内容
1コマ目	オリエンテーション	9:30～11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修内容の説明 ・事例の選択と個別支援計画の作成 ・プレゼンテーション模擬演習
	休憩	11:00～11:10	
2コマ目	個別支援計画のプレゼンテーション	11:10～12:40	<ul style="list-style-type: none"> ・自職場での個別支援計画のまとめ ・プレゼンテーションの実際
	昼食休憩	12:40～13:40	
3コマ目	個別支援計画の実践報告	13:40～15:10	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員のチームを作成し、個別支援計画の実施、評価を通して事例検討のための資料の作成、事例検討会の準備 ・様々なプレゼンテーション技法の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ①ワールドカフェ ②学び合い ③【えんた】等
	休憩	15:10～15:20	
4コマ目	事例検討会の準備	15:20～16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討のための資料の作成、事例検討会の準備 グループ演習としてグループごとに選択設定。

2日目

区分	科目名	時間	内容
1コマ目	事例検討発表会	9:30～11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・自職場課題の発表と検討
	休憩	11:00～11:10	
2コマ目	事例検討発表会	11:10～12:40	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 発表内容のブラッシュアップ
	昼食休憩	12:40～13:40	
3コマ目	総括	13:40～15:10	<ul style="list-style-type: none"> ・総括

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実地体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2020年5月15日(金)
	② 2020年6月12日(金)
	③
開催場所(会場)	① 静岡県総合社会福祉会館(静岡市葵区駿府町1-70)
	② //
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>○自職場事例を用いた演習</p> <p>野田由佳里氏 聖隷クリストファー大学社会福祉学部教授</p> <p>学歴：聖隷クリストファー大学大学院博士後期課程修了 (社会福祉学博士)</p> <p>職歴：</p> <ul style="list-style-type: none">・社会福祉法人豊生会 特別養護老人ホーム彩幸・学校法人穂の国学園 中部福祉専門学校・学校法人足立学園 愛知文教女子短期大学・学校法人聖隷学園 聖隷クリストファー大学(現在に至る) <p>担当科目・講師経験・調査研究実績</p> <ul style="list-style-type: none">・担当科目 【介護福祉論】【高齢者福祉論】【社会福祉概論】【介護過程】 【チーム介護論】【包括的ケア論】・講師経験 平成17年以降 介護福祉士養成教育専任教員や、愛知県・岐阜県・静岡県などの介護福祉士会主催の各種研修講師を担当。・調査研究実績 研究テーマ【介護人材の定着】【腰痛予防】【ケアの質の向上】等。 2015年 文部科学省科学研究費採択 「動作分析による腰痛予防に着目した移乗介護技術習得のためのセルフチェック法の開発」研究代表者 2017年 文部科学省科学研究費採択 「外国人を対象とした地域型介護における人材定着を促す好循環システムの開発」研究分担者として参加 2018年 文部科学省科学研究費採択 「介護職と管理職でつくる仕事のやりがいと経営安定が両立する職場改

善プログラムの開発」

2019年 文部科学省科学研究費採択

「タスクシェアリング活用に着目したアドバンスケアモデルの構築」

研究代表者

主な研究論文

1. 野田由佳里「介護職員の仕事意識に関する考察」2011年
2. 野田由佳里「離職に及ぼすケアの質に関する研究～特別養護老人ホームで働く介護職員の実態～」2012年
3. 野田由佳里「介護福祉実践現場と介護福祉士養成校とのOJTにおける協働に関する報告～A県B法人との取り組みの課題」2012年
4. 野田由佳里「介護職員の仕事のやりがいに関する一考察 同一社会福祉法人に勤務する職員の傾向性」2013年
5. 野田由佳里「介護職員の就労継続に関する報告—A施設の取り組みと課題—」2013年
6. 野田由佳里「デイサービスにおける就業構造」2015年
8. 野田由佳里「デイサービスに従事する熟練ワーカーの就業意識」, 2015年
9. 野田由佳里「ユニットケアにおける情報共有の現状」2016年

主な著書：

- ・中央法規「介護福祉士国家試験解説」
- ・保育総論社「介護概論」

担当する講義等

事後課題評価

野田由佳里氏

経歴等は同上

(3)実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会（非常勤:6名） 委員会事務局（担当事務局員：常勤2名・非常勤2名） 認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。
研修管理責任者職名	会長
研修管理責任者氏名	及川 ゆりこ
機構問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
機構問合せ先担当者氏名	平野 美智子
機構問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
機構問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
受講問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
受講問合せ先担当者氏名	平野 美智子
受講問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
受講問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
(4)研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	静岡県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	及川 ゆりこ（会長）
管理担当者氏名	平野 美智子（事務局長）